

様式第1（第4条関係）

設置工事開始の30日前までに提出

特定施設設置届出書

〇〇年〇〇月〇日

松山市長 殿

〇〇町〇〇

届出者 株式会社 〇〇鉄工所  
代表取締役 〇〇 〇〇

振動規制法第6条第1項の規定により、特定施設設置について、次のとおり届け出ます。

工場または事業場の名称	株式会社 〇〇鉄工所		※ 整理番号		
工場または事業場の所在地	〇〇町〇〇		※ 受理年月日	年	月 日
工場または事業場の事業内容	金属加工業		※ 施設番号		
常時使用する従業員数	38人		※ 調査結果		
防 止 方 法	別紙のとおり		※ 備 考		
特定施設の種類の種類	型 式	公 称 能 力	数	使用開始時刻 (時・分)	使用終了時刻 (時・分)
一 金属加工機械 ロ 機械プレス	KKP-05	100トン	5	8:30	17:30
一 金属加工機械 ハ せん断機	KS-1DX	5.5kW	2	8:30	17:30
二 圧 縮 機	AIR262	7.5kW	1	8:30	17:30

- 備考 1 特定施設の種類の欄には、振動規制法施行令別表第1に掲げる号番号及びイ、ロ、ハ等の細分があるときはその記号並びに名称を記載すること。
- 2 振動の防止の方法の欄の記載については、別紙によることとし、吊基礎、直接支持基礎（板ばね、コイルばね等を使用するもの）、空気ばねの設置等振動の防止に関して講じようとする措置の概要を明らかにするとともに、できる限り図面、表等を利用すること。
- 3 ※の欄には、記載しないこと。
- 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

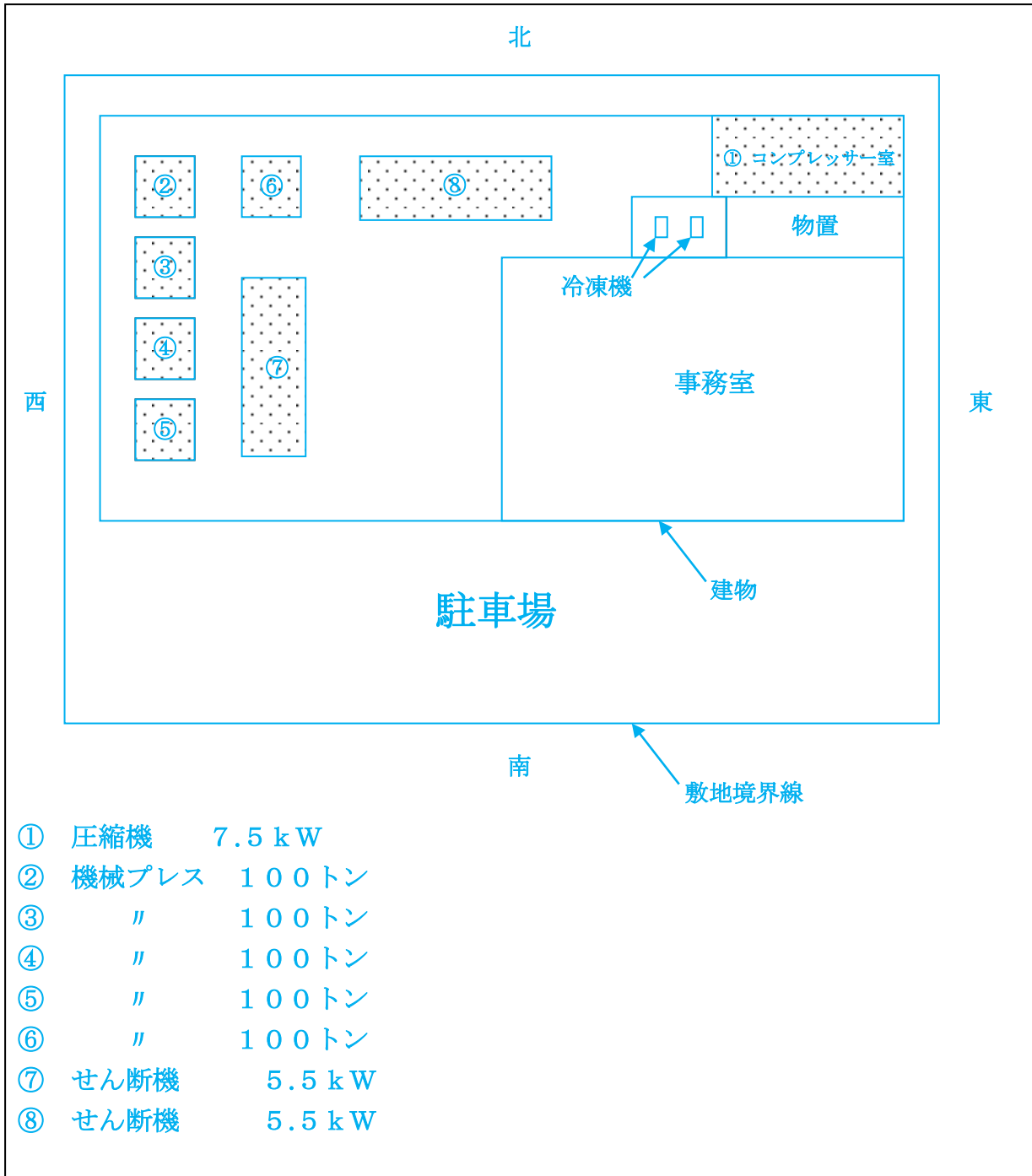
## 振動の防止の方法

- ※ 隣接する民家を考慮に入れ、振動レベルの高い機械を工場中央部に配置する。
- ※ 低振動型の機械を設置する。
- ※ 機械作業の操作方法を改善する等、振動の発生を減少させる措置をとっている。
- ※ 金属ばね、防振ゴムなどにより、機械を弾性支持し、防振対策をとる。
- ※ 作業場の周囲には、振動の影響を受ける住居がないので、特別な対策をとっていないが、将来、民家ができただけの場合には、対策がとれるような余地を残している。

## 補足事項

1. 振動の防止に関して講じようとする措置の概要を明らかにするとともに、できる限り、図面、表等を利用すること。
2. 現在とっている振動対策の状況及び将来の計画として考えていることを記入すること。

特定施設の配置図



補足事項

1. 工場及び事業場が広く、添付の用紙では狭すぎる時、いくつかの階に分けて、特定施設を設置している時等には、別紙に記入して提出すること。
2. 方角を記入し、工場及び事業場敷地内の建物及び特定施設の機械の配置を明確にするとともに、事務室や倉庫の位置も記入すること。
3. 工場及び事業場の敷地境界線を明記すること。